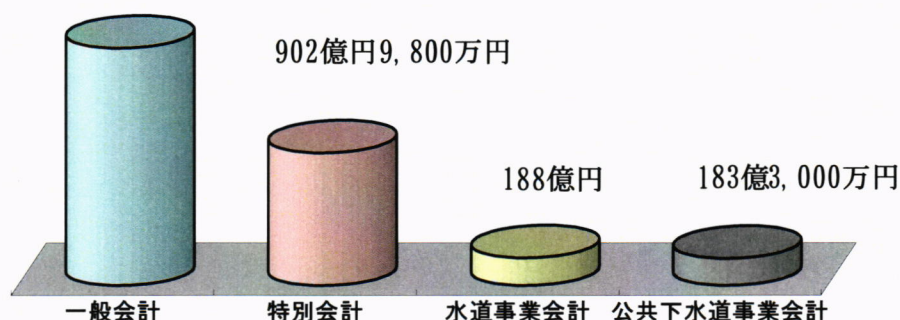


## IV大分市の予算

### 1. 平成25年度予算（当初予算）の概要

総額 2,891億2,800万円

1,617億円



平成25年度の一般会計の予算は、1,617億円となっています。これに特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計を合わせた全会計の予算規模は、2,891億2,800万円で、前年度と比べて2.3%減少しています。

#### 【一般会計】

大分市の会計の基本をなすもので、行政運営の基本的な経費や政策的経費が計上されています。

#### 歳入

歳入の主なものは、市税755億5,058万円、国庫支出金305億4,073万円、地方交付税103億6,000万円、市債172億4,790万円となっています。構成比は次のグラフのとおりで、自主財源である市税が歳入全体の46.7%を占めています

#### 自主財源と依存財源

自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入し得る財源をいい、地方税、使用料、手数料、寄附金、財産収入、繰入金、諸収入、繰越金等があります。歳入全体の中で、この自主財源の占める割合を自主財源比率といい、地方財政の自主性を高めるためにも、自主財源比率の割合が高いことが望まれています。

また、国や県より定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源といいます。依存財源には、国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方債等があります。この依存財源が大きいほどその団体の財政状況は脆弱であると考えられます。